老人ホームIoT活用 西鉄、久留米に九州最大306室

日本経済新聞 地域経済

2018年3月23日 2:19 [有料会員限定]

西日本鉄道は22日、福岡県久留米市に居室数が九州最大の高齢者住宅を建設すると発表した。306室の住宅型有料老人ホームで2020年4月に竣工させる。投資額は約68億円。あらゆるモノがネットにつながる「IoT」技術を活用。日々の睡眠時間や歩数、毎月の体力測定のデータを分析するなどして入居者の健康維持をサポートする。

老人ホーム ー 0 T活用 一 本鉄道は22日、福 0 6 室の住宅型有料老人 西鉄 久留米に九州最大36 室 西県久留米市に居室数が ホームで2020年4月 西県久留米市に居室数が ホームで2020年4月 本芸道は22日、福 0 6 室の住宅型有料老人 西共 久留米に九州最大36 室

> 康維持をサポートする。 の T 」技術を活用。日々の の T 」技術を活用。日々の 体力測定のデータを分析 断にいて入居者の健 がネットにつながる「 I

関連キーワード: 西日本鉄道 インターネット・オブ・シングス 老人ホーム 住宅型有料老人ホーム